

別 紙



令和2年3月実施 市バス新ダイヤ



はじめに

- 市バス事業においては、この間、車両を大幅に増車し、系統の新設や増便など、路線・ダイヤの充実に積極的に取り組み、お客様の利便性を高めることで更なる御利用につなげる「攻めの経営」を推進した結果、お客様数は大幅に増加してきました。
- しかしながら、現在、市バス事業は、バス運転士・整備士の担い手が不足していること、また、営業所のバス収容能力も限界に近付いていることから、これまでのような輸送力（運転士・車両）の強化が困難な状況にあります。
- さらに、管理の受委託に係る受託事業者が撤退することに伴い、九条営業所を完全直営化する必要があります。（45両分）
- こうした厳しい状況においても、喫緊の課題である車内混雑に対しては、昨年実施したバス運転士への聞き取り調査の結果を踏まえた対策を講じるとともに、地域主体のモビリティ・マネジメントと一体となった路線・ダイヤの拡充にしっかりと取り組んでまいります。
- 今回の新ダイヤでは、市民の皆様の日々の生活に不可欠な生活系統はしっかり守ったうえで、ルートが重複する系統を見直し、その輸送力を対策が必要な系統に充て、限られた輸送力を最大限に活用して利便性・快適性の更なる向上を図ります。

概要

1 混雑対策

(1) 四条通・東大路通の混雑対策

ア 58号系統の経路変更 イ 86号系統の増強

(2) 堀川通・金閣寺付近の混雑対策

12号系統及び59号系統の経路変更

(3) 大宮通・千本通の混雑対策

6号系統の延伸運行（京都駅～四条大宮）

2 地域主体のMMと一体となった路線・ダイヤの拡充

(1) 70号系統の増便

(2) 特37号系統の延伸

3 まちづくりの進展に合わせた利便性の向上

(1) 上賀茂神社を起終点とする系統の西賀茂車庫への延伸

(2) 嵐電／北野白梅町駅と京阪・叡電／出町柳駅との結節強化

4 ルートが重複する系統の見直し

5 停留所の新設

6 分かりやすさの向上

7 民間事業者と連携した取組の推進

8 車両の安全性向上

車両数

822両(+4両)

直営:493両 委託:329両
(+46両) (△42両)

(直営) 九条直営化 +45両 増車 +1両
(委託) 九条直営化 △45両 増車 +3両

系統数

82系統(△2系統)

(見直しを行う系統)

- ・ 104号系統
- ・ 循環1号系統(100円循環バス)
+
- ・ 京大快速

走行キロ

87,800km/日

(+ 500km)

実施予定日

令和2年3月20日

(金曜日・祝日)

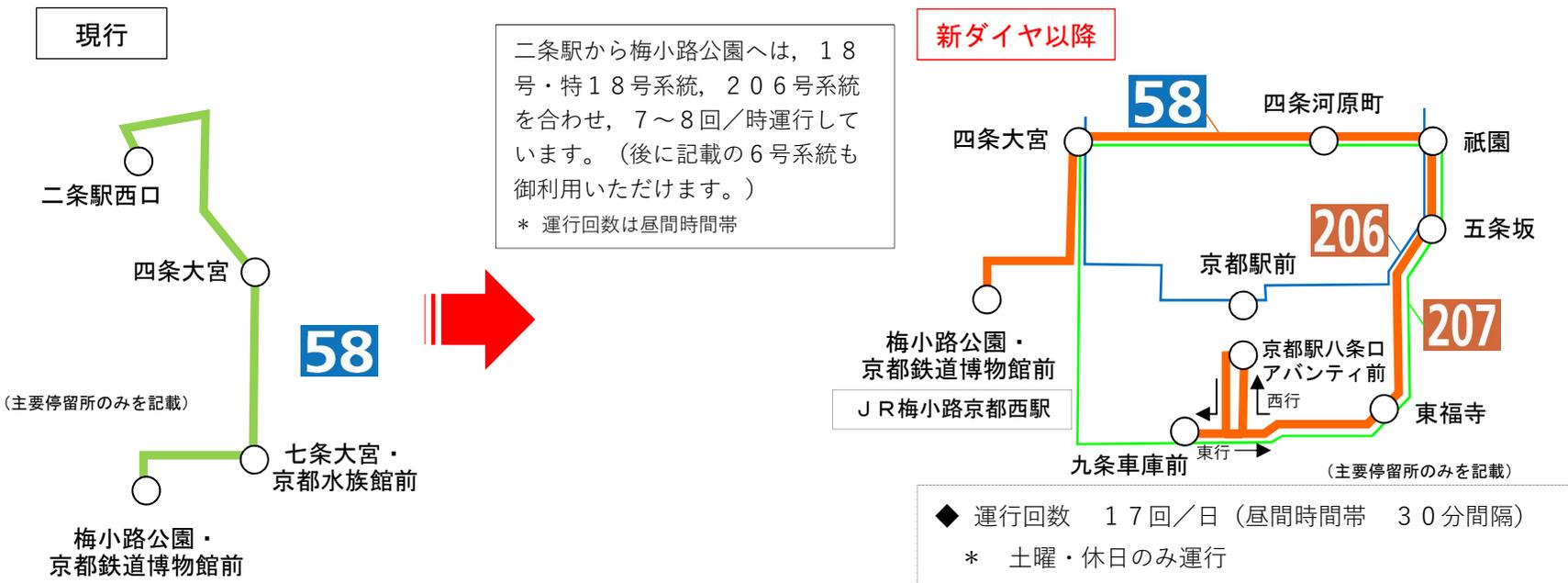
1 混雑対策

(1) 四条通・東大路通の混雑対策

ア 58号系統の経路変更

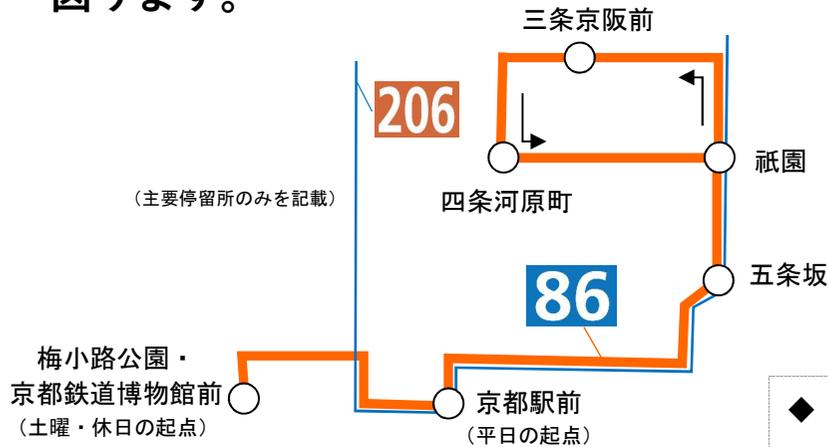
梅小路公園と二条駅とを結ぶ**58号系統**の運行経路を梅小路公園と混雑度の高い四条界わい及び東大路通方面とを結ぶ経路に変更します。

これにより、四条界わいと東大路通方面とを結ぶ**207号系統**や東大路通と京都駅とを結ぶ**206号系統**等の混雑緩和を図るとともに、**京都駅に集中しているバス利用者の梅小路京都西駅への分散化を図ります。**



イ 86号系統の増強

土曜・休日に運行している**86号系統**（梅小路公園・京都駅～五条坂～三条京阪～四条河原町）を平日にも京都駅を起点として運行し、同エリアを運行する**206号系統**等の混雑緩和を図ります。

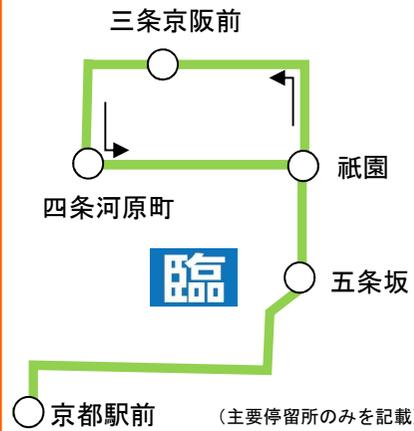


◆ 運行回数 平日 4回/日 * 平日は、京都駅～梅小路公園は運行しません。
土曜・休日 18回/日 (昼間時間帯 30分間隔)

分かりやすさの向上を図る取組

86号系統とほぼ同じ経路で、観光シーズンを中心に臨時運行している**楽洛東山ライン**について、これまでは「臨」と表記して運行していましたが、海外からお越しのお客様により御利用いただきやすいよう、**86号に表記を統一**します。

京都駅と東大路通方面とのアクセスとして同系統を一層御利用いただくことで、他の系統の混雑緩和を図ります。



(2) 堀川通・金閣寺付近の混雑対策

12号及び59号系統は、平成28年11月から観光シーズンのピーク期において、**立命館大学前～金閣寺道の運行経路をきぬかけの路經由から西大路通經由に変更**する取組を行ってきました。その結果、定時性の向上に加え、これらの系統に集中していたお客様の御利用が他の系統に分散することで、堀川通等を運行する系統の混雑緩和に一定の効果がみられたことから、**試行的に本取組を通年実施**します。



◆ 運行回数

12号	平日 67回/日
	(昼間時間帯 15分間隔)
59号	平日 62回/日
	(昼間時間帯 12～15分間隔)

- 金閣寺から四條河原町へは、御利用が集中する12号及び59号系統に加え「金閣寺道」北行停留所から205号系統も御案内します。
- 金閣寺から二条城へは、御利用が集中する12号系統に加え「金閣寺道」南行停留所から101号、111号、204号系統も御案内します。

(3) 大宮通・千本通の混雑対策

四条大宮（一部便は京都駅）と鷹峯方面とを結ぶ6号系統について、全便を京都駅発着とし、京都駅～四条大宮も運行することで、大宮通・千本通を運行する206号系統の通勤・通学時間帯等の混雑緩和を図ります。



◆ 運行回数

平日 40回/日 (昼間時間帯 30分間隔)



現在は、一部の便が
京都駅～四条大宮を延長運行
平日 8回/日 (土曜・休日 5回/日)

「京都駅前」時刻表
(平日)

現行	時	新ダイヤ			
	5				
	6	8	38	53	
	7	8	20	35	50
	8	3	18	35	55
48	9	23		53	
18	48	10	23	53	
18	48	11	23	53	
18	48	12	23	53	
18		13	23	53	
	14	23		48	
	15	8	33	53	
	16	13	33	53	
	17	13	33	53	
	18	13	33	53	
	19	23		58	
	20	28		58	
	21		33		
	22				
	23				

2 地域主体のMMと一体となった路線・ダイヤの拡充

(1) 70号系統の増便

継続したMM活動の取組により、お客様数が増加していること等を踏まえ、**70号系統**を平日は朝・夕方ラッシュ時間帯を**20分間隔の運行**とするとともに、**土曜・休日は30分間隔の運行時間帯を朝・夜間時間帯に拡大**します。

「太秦天神川駅前」時刻表（平日）

現行	時	新ダイヤ
	5	
19 59	6	19 59
24 54	7	22 45
24 54	8	10 30 50
25	9	10 30 50
0 30	10	20 50
0 30	11	20 50
0 30	12	20 50
0 30	13	20 50
0 30	14	20 50
0 30	15	20 50
0 30	16	20 50
0 30	17	20 40
0 30	18	0 20 50
0 30	19	20 50
3 43	20	20 50
23	21	23
3	22	3
3	23	3



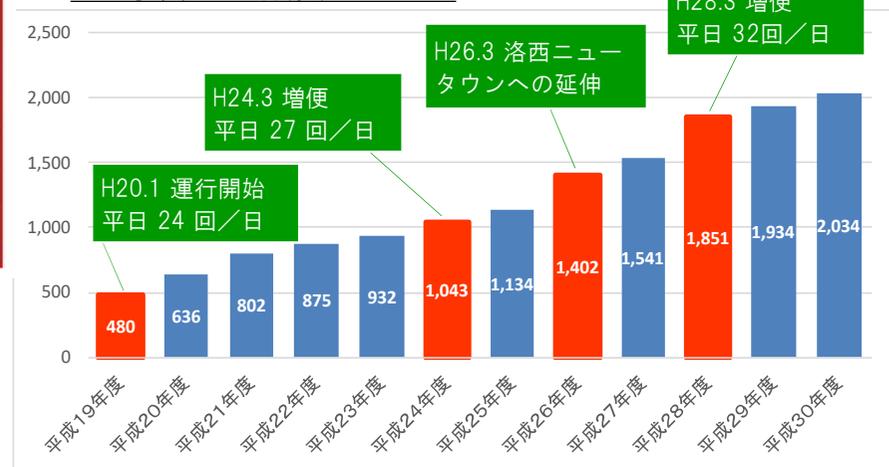
◆ 運行回数

平日 32回 → 36回/日 (+4回)

土曜・休日 28回 → 32回/日 (+4回)

(いずれも昼間時間帯 30分間隔)

70号系統のお客様数（人/日）

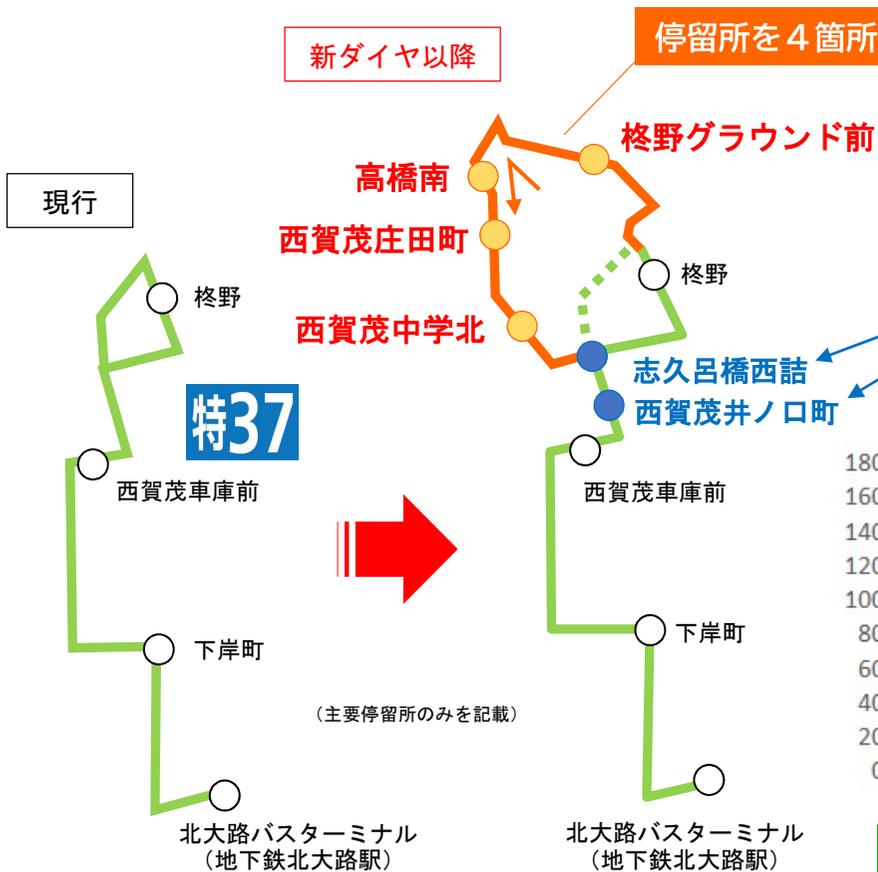


(2) 特37号系統の延伸

「柘野地域における公共交通利用促進会議」での継続したMM活動の取組により、お客様数が増加していることや、地域の皆様からの御要望を踏まえ、現行の13回/日の運行回数を維持したうえで、**特37号系統**を**西賀茂北部地域へ延伸**します。



◆ 運行回数
毎日 13回/日 (昼間時間帯 90分間隔)



3 まちづくりの進展に合わせた利便性の向上

(1) 上賀茂神社を起終点とする系統の西賀茂車庫への延伸

御蔭橋の架替工事に合わせ、上賀茂神社においても神社前広場等の整備が行われるため、同神社内に設置している上賀茂神社操車場の運用を終了し、**4号、46号及び67号系統**を**西賀茂車庫まで延伸**します。

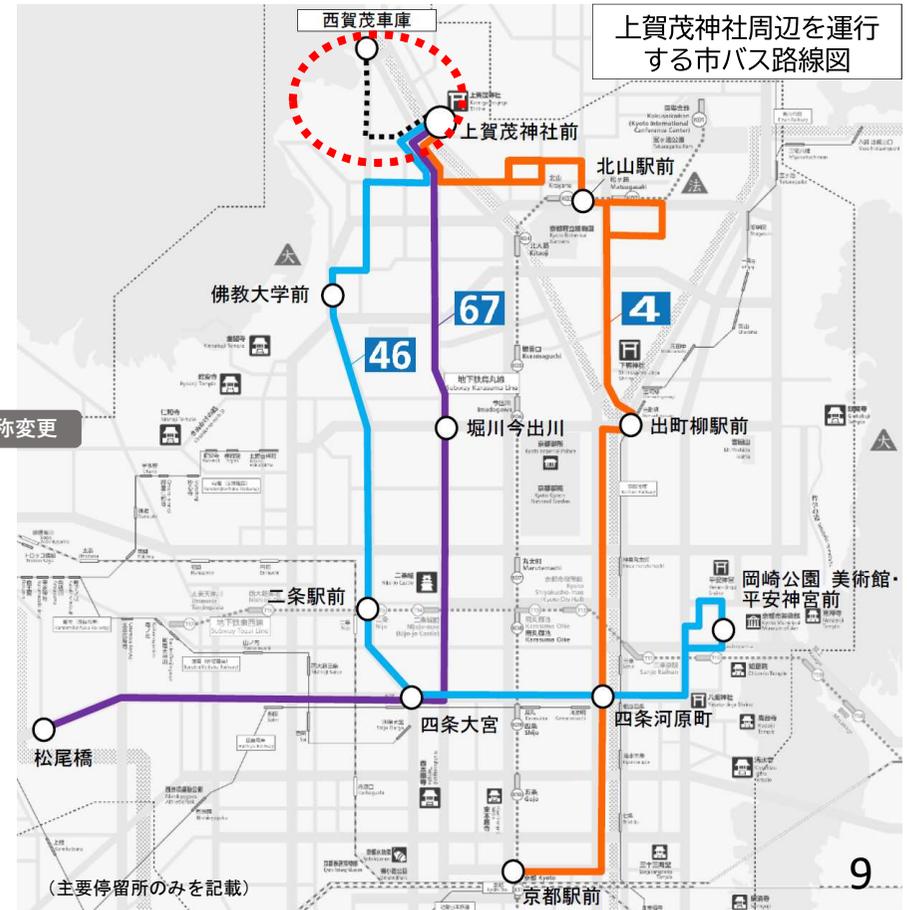


◆ 運行回数 (平日)

4号 59回/日 46号 83回/日 67号 5回/日
(昼間 15分間隔) (昼間 12分間隔) (昼間 運行なし)



工事期間中 (令和3年3月頃まで) は、上賀茂神社内を經由しません。



(2) 嵐電／北野白梅町駅と京阪・叡電／出町柳駅との結節強化

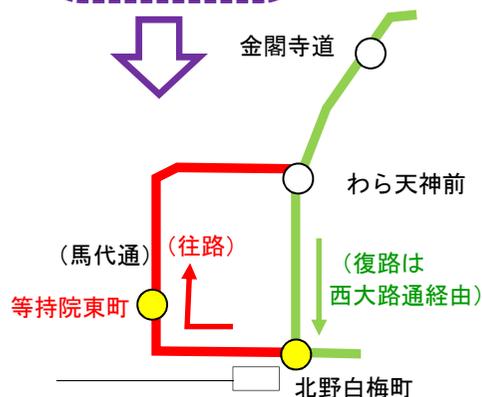
銀閣寺と金閣寺とを結ぶ**急行102号系統**について、嵐電（京福電鉄）北野白梅町駅のリニューアルにより駅北側に嵐電とのシームレスな乗継ぎができるバス停が整備されることに伴い、**乗入れを行うとともに、出町柳駅周辺のルートも変更**することで、鉄道との更なる結節強化を行い、アクセスの向上を図ります。

あわせて、同系統に前乗り後降り方式を導入します。

◆ 運行回数 毎日 18回／日（昼間時間帯 30分間隔）



出町柳駅前
（双方に停車します）



リニューアル後の北野白梅町駅イメージ（京福電鉄提供）

「出町柳駅前」停留所について、**今出川通に加え、川端通の停留所にも新たに停車し**、京阪電車、叡山電車との乗継利便性の向上を図ります。

「北野白梅町」駅隣接の停留所へは、**往路（金閣寺・北大路バスターミナル行き）が乗り入れます**。併せて「等持院東町」停留所にも停車し、等持院へのアクセス向上を図ります。

4 ルートが重複する系統の見直し

ルートが重複する以下の系統を見直し（運行終了），その輸送力を本資料に記載の路線・ダイヤの拡充に充て、利便性の向上を図ります。

(1) 急行104号系統

運行回数 平日 7回/日，土曜・休日 28.5回/日
 お客様数 883人/日 営業係数 102

京都駅から河原町通方面へは4号，17号，205号系統を合わせ3～4分間隔で，梅小路公園から四条河原町へは，七条大宮・京都水族館前から207号系統を約10分間隔で運行しています。（58号，86号系統も御利用いただけます。） * 運行間隔は昼間時間帯

(2) 循環1号系統（100円循環バス）

運行回数 土曜・休日のみ 42回/日
 お客様数 785人/日 営業係数 141

京都市役所前から四条烏丸へは，3号，32号系統を合わせ8～9回/時，烏丸御池から四条河原町へは15，51，65号系統を合わせ4回/時運行しています。 * 運行回数は昼間時間帯

(3) 京大快速

運行回数 平日のみ 10回/日（交通局運行分/京都駅前発の運行回数）
 （お客様数 248人/日 御利用目標 472人/日）

京都駅から京都大学方面へは206号系統を7～8分間隔，17号系統を15分間隔で，四条烏丸から京都大学方面へは201号系統を11分間隔で運行しています。 * 運行間隔は昼間時間帯

* いずれも運行回数は現行ダイヤであり，お客様数及び営業係数は平成30年度分を記載しています。
 （京大快速のお客様数及び御利用目標は，バスに搭載の乗客計数器で計測した数値を記載）



現在，土曜・休日の昼間時間帯に，急行104号系統がバスの駅「四條河原町」*に停車しておりますが，新ダイヤ以降は，平日と同じく17号系統が停車します。

* 河原町通北行/四條河原町交差点南側に設置

5 停留所の新設

■ 嵯峨野秋街道町（西行） * 東行は設置済み（平成31年3月）

帷子ノ辻～生田口 関係系統：11号系統



■ 西賀茂橋東詰【再掲】（P 9 参照）

4号，46号及び67号系統の延伸区間（西賀茂車庫前～朝露ヶ原町）

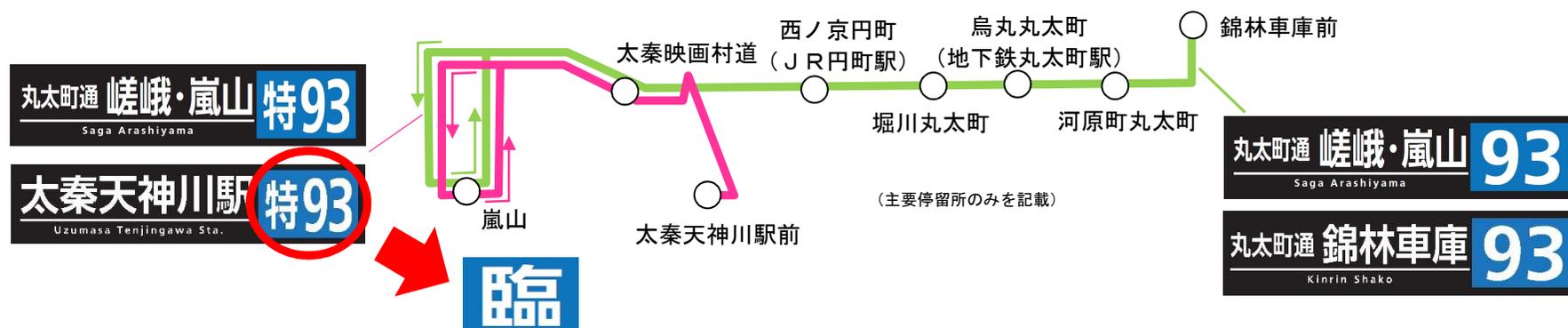
■ 柘野グラウンド前，高橋南， 西賀茂庄田町及び西賀茂中学北【再掲】（P 8 参照）

特37号系統の延伸区間（柘野～志久呂橋西詰）

6 分かりやすさの向上

(1) 系統番号の変更

太秦天神川駅と嵯峨・嵐山方面とを結ぶ**特93号系統**について、**二条城・平安神宮方面行き**の**93号系統**との**乗り間違いを防ぐため**、**復路（太秦天神川駅行き）**の**系統番号の表記を「臨」に変更**します。※ 往路（嵐山行き）は現行どおり



(2) 付加呼称の設定

■ 南横大路 → 南横大路（さすてな京都前） 関係系統：20号系統

南部クリーンセンターに併設する環境学習施設「さすてな京都」の名称を最寄停留所の付加呼称に設定します。

7 民間事業者と連携した取組の推進

「大学のまち京都」を支える観点から通学輸送の充実を図るとともに、50号及び205号系統等の混雑緩和に資するため、京都駅と周山エリア間とを運行している西日本ジェイアールバス株式会社（以下「JRバス」という。）と連携した取組を令和2年4月1日（水曜日）から実施します。

(1) 定期券の共通利用化

交通局が発売しているバスのICOCA定期券が現在の定期券と同価格で、市バス・京都バス(※)に加え、新たにJRバス(※)にも御乗車いただけるようになります。

(※)均一運賃区間内に限る

◇ 対象となるICOCA定期券

- ・市バスフリー定期券（通勤，通学甲（大学））
- ・市バス・地下鉄連絡定期券（通勤，通学甲（大学））
- ・市バス・地下鉄共通全線定期券

◇ 対象となるバス



市バス

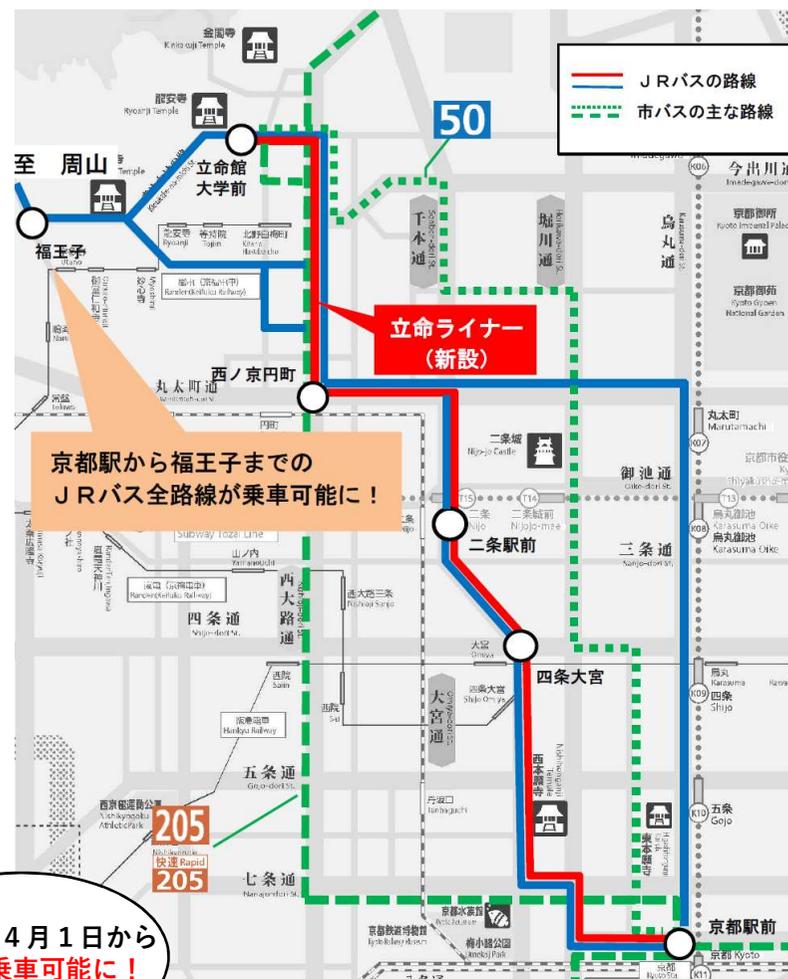


京都バス



JRバス

令和2年4月1日から
新たに乗車可能に！



(2) 通学輸送の充実

立命館大学衣笠キャンパス内に、新設されるJRバスの系統（立命ライナー）が乗り入れることで、**キャンパス内からの出発便を拡大**します。

キャンパス内からの運行回数

16回 → **24回**／日

(市バスのみ) (市バス・JRバス)



「立命館大学前（キャンパス内）」の停留所

(3) 停留所名称の統一

分かりやすさの向上を図るため、JRバスの停留所名称を**市バスの名称に統一**します。

< JRバスの停留所名称 >

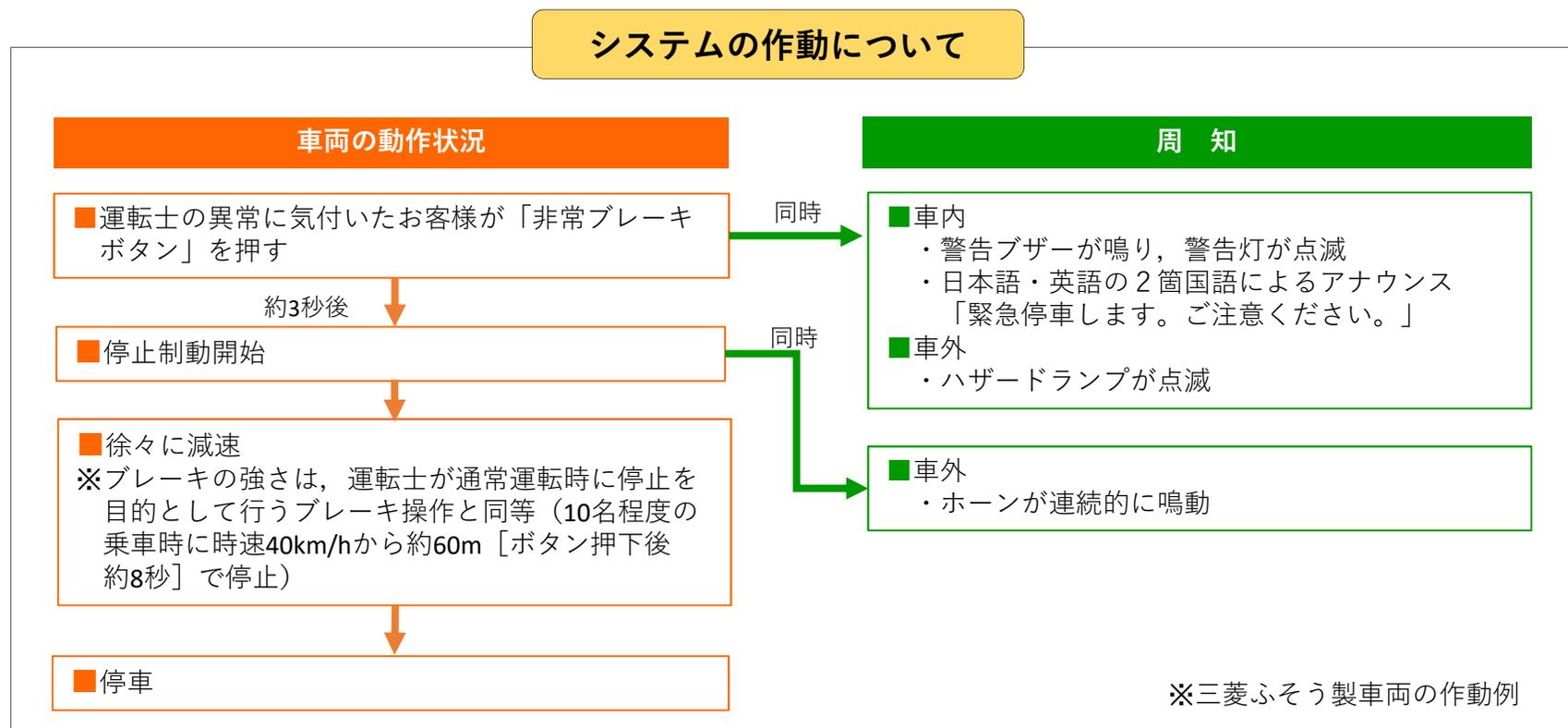
変更前	京都駅	三哲	五条大宮	円町	北野	御室東	妙心寺北門
変更後	京都駅前	下京区 総合庁舎前	大宮五条	西ノ京円町 (JR円町駅)	北野白梅町	御室	妙心寺 北門前

市バスとJRバスの
停留所名称が同じに
なります！

8 車両の安全性向上

「ドライバー異常時対応システム」を搭載した車両の導入

運転士が、運転中の体調急変などにより安全運転の継続が困難となった場合、お客様が運転席後部客席側にある非常ブレーキボタンを押すことにより、車両を自動停止させる「ドライバー異常時対応システム」が、令和元年の秋以降に国内で製造される路線バスに標準で搭載されています。交通局におきましては、本システムを搭載した車両を令和元年度中に47両導入することとし、令和2年1月末から導入を開始しています。



非常ブレーキボタン・警告灯の設置位置及び案内掲示



非常ブレーキ
Emergency Brake

非常ブレーキ Emergency Brake

運転者が急病等で運転ができなくなった場合に、
カバーを開けスイッチを押してください。
運転士の異常時以外のスイッチ操作は、法令により禁止されています。For Emergency Use Only



ごあんない 国土交通省
※ 京都市交通局

このバスには
ドライバー異常時対応システムが搭載されています。
※国土交通省策定「ドライバー異常時対応システム基本設計書」に準拠

バスの運転者が急病等で運転できなくなった場合、
非常ブレーキのカバーを開けスイッチを押してください。
バスは**緊急停止**します。

※運転者自らが体調の異常等により非常ブレーキを操作し緊急停止させることがあります。

非常ブレーキスイッチは**バス前方運転者席後ろ付近**に設置されています。

非常ブレーキが 作動したら

緊急停車します、ご注意ください！
Attention, the emergency brake
has been applied

ドライバー異常時対応システム作動時、バスは**音と光等**による**警報**を発します。
警報を確認したら、**緊急停車に備えてください。**

お立ちの方は	つり革・手すり ¹ にしっかりとつかまりください
座席にお掛けの方は	深く腰をかがけ手すり ² 等しっかりとつかまりください
小さなお子様をお連れの方は	お子様をしっかりと抱きかかえてください

おねがい

緊急停止後は、危険ですのでむやみに車外に出ないようにしてください。
運転者の異常時以外は、非常ブレーキスイッチを押さないでください。
※運転者の異常時以外の非常ブレーキスイッチの操作は法令により禁止されています。

Never push the switch unless the driver cannot continue operating the bus.

ご理解とご協力をお願いいたします